

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第 1284 号	氏名	吉岡 努
論文審査担当者		主査教授	丹羽 正美
		副査教授	江石 清行
		副査教授	前村 浩二
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、動脈硬化性病変に対するステント留置術後再狭窄の病態研究のための動物実験モデルを作成しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 この種の研究成果を左右すると考えられる動物実験手技の困難さを克服し、種々の細胞組織学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、血管平滑筋の形質転換を伴ったヒトに類似した内膜過形成を再現したラット頸動脈血管損傷モデルの作成に成功し、動脈硬化性閉塞やステント留置術後再狭窄の病態解明への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は動脈硬化など血管生物学病変の分子基盤の解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			